

ごじょうめ

主 な 内 容

- 伸びゆく五城目町
この一年を振り返る…… 2・3
- 知事訪問…………… 4
- ふれあい広場…………… 6
- スポットニュース…………… 7
- 五城目の地名散歩…………… 10



まちの職人さん

「荒峰洋服店」の二代目、三代目として、伝統ある手縫いの洋服を造り続けている、洋裁師・荒川 峯三・祥一郎さん親子。父親の峯三さんは六十年間、この道一筋に頑張ってきた。「良いものを損得抜きで造りたい、これが職人気質です。お客さんのために死ぬまで針を持ち続けます」と語り、息子の祥一郎さんは「平面の服地を、立体で動きのある人の身体に合わせるのとても難しい。しかし私たちは職人。お客さんの体に合った良い服を造り続けていきたい」と語ってくれた。

荒川 峯三・祥一郎さん
(畑 町)

洋裁師

No. **602**

昭和**63**年（1988年）

12月15日

（毎月1日・15日発行）

発行／五城目町

編集／文書広報課 ☎0188(52)2100(代)

印刷／湖東印刷所 ☎0188(52)2430

伸びゆく五城目町

この一年を振り返る

今年一年、広報では町民のみなさんにいろいろな行事、出来事をお知らせしてきましたが、その中から特に心に残ったもの、記憶に新しいものを集め、昭和六十三年を振り返ってみたいと思います。

この一年、広報編集にあたり、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



本町で十八年ぶりに行われた第百十一回秋田県種苗交換会。
(第一会場—五城目小学校で)



伊藤シミさん(富津内落合)が満百歳の誕生日を迎え、町から寿状と長寿祝金百万円が贈られました。
(四月十六日、自宅で)

▽一月二十九日

矢崎崎住宅団地に新たに町営住宅五戸が完成。二月一日から入居者の募集が行われました。

▽三月二十七日

議員定数改正後初めての任期満了に伴う町議会の選挙が行われ、即日開票の結果、新人六人を含む二十二人の新議員が決まりました。

▽四月一日

二カ年事業で建設してきたし尿処理場(五城目町クリーンセンター)が、本格操業を開始しました。

▽四月一日

東京都千代田区の靖国神社で行われた「千代田のさくらまつり」に本町の朝市が参加し、好評を博しました(一三日)。この後、千代田区の防災訓練、老人福祉大会へも参加。また本町へは、町功労者表彰式典に神田明神の将門太鼓が出演するなど、千代田区との姉妹提携にむけて、活発な交流が行われました。

▽四月十三日

町の幹線道路である国道二八五号線の環境美化を図るこ

とを目的に、コスモスロード造成推進部会が発足。秋には総延長十二キロにおよぶコスモスの花が、訪れる人々の目を楽しませました。

▽四月十六日

富津内落合の伊藤シミさん(明治二十一年生まれ)が、満百歳の誕生日を迎え、町寿条例満百歳第一号となりました。

▽四月三十日

馬城橋の完成を祝う記念式典と「五城目町きやどっこまつり'88」が中央線シンボルロードを会場に開催され、橋の竣工を祝う人や、まつりを楽しむ人たちにぎわいました。

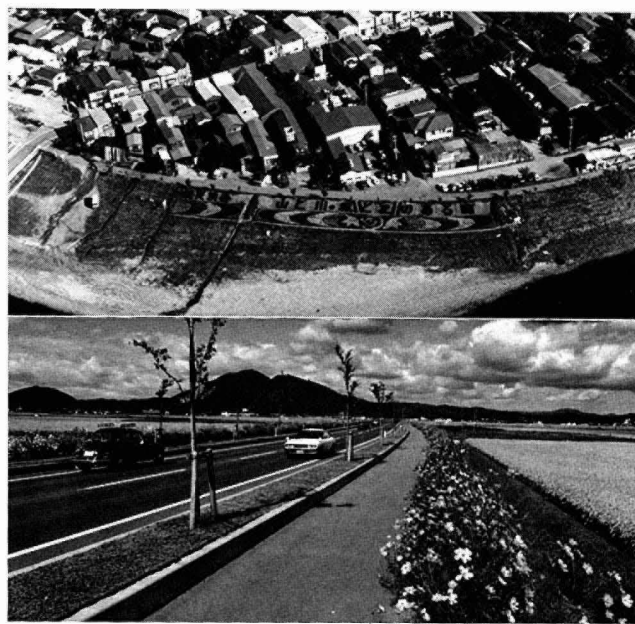
▽六月八日

国道一〇三・一〇四・一〇五・二八五号線の統一愛称が「あきたリゾートライン」に決定。八月二日には、愛称宣伝キャラバン隊によるPRや、秋田市で愛称設定記念パレードおよび祝賀会が行われました。

▽六月十二日

「全国朝市サミット・イン五城目」が本町で行われ、全国から朝市を開いている六市

馬城橋の完成を祝う記念式典と五城目町きやどっこまつり
88が行われました(四月三十日、中央線シンボルロード)



全国花いっぱいコンクール日本一に輝いた磯ノ目フラワーライン(上)と、国道285号線沿いを鮮やかに彩るコスモス(下)。

国道一〇三、一〇四、一〇五、二八五号線の統一愛称設定を記念し、秋田市広小路をパレードする沿線市町村長(八月二日)



クリーンセンター(し尿処理施設)の竣工式が3月15日行われ、4月1日から本運転が始まりました。

本町町内会長と千代田区神田旭町会
の姉妹提携を記念し建てられた記念碑。



町が参加し、活発な討論が交わされました。

▽八月六日

英語教育の語学指導を行うため、アメリカからアーネスト・サンダーさんが来町。一年間、中学校の英語指導助手として勤務することになりました。

▽九月十一日

二年に一度行われている体育の祭典、第十八回全町体育祭が開催され、上山内町内会が通算六度目の優勝を成し遂げました。

▽九月二十三日

五城目町町内会長と千代田区神田旭町会の姉妹提携を記念し、富津内北口の国道二八五号線沿いに記念碑を建立。また、近くに建設された橋が神田橋と命名されました。式典には両町からおよそ百人

が出席しました。

▽十月六日

二期八年務めた小玉教育長の退任に伴い、新教育長に渡部雄一氏が就任しました。

▽十月十八日

町の新しい名所となった馬城橋に、住民のやすらぎの場として橋詰広場が完成。広場には東屋と、その下には公衆トイレが備わっています。

▽十月二十三日

町功労者表彰式典が広域体育館で行われ、町功労者として佐藤祐耕氏、永澤政治郎氏、阿部千や氏、加藤甚一氏、畠山豊氏が表彰されました。

▽十一月一日〜七日

「先人に学び農業の未来をひらく」をテーマに、第一百一回秋田県種苗交換会が本町を会場に開催されました。会期中は、日曜日と好天が重なった六日目の十三万二千人を最高に、五十二万八千人の参観者が各会場を訪れました。

▽十一月五日

全国花いっぱいコンクール中央審査で、馬場目川河川敷花壇推進委員会が手塩にかけて造成した「磯ノ目フラワーライン」が、「職場・地域の部」で内閣総理大臣賞を受賞。日本一の花だんとなりました。

▽十一月十五日

町民のみなさんに毎月二回お届けしている「広報ごじょうめ」が、十一月十五日号で六百号を迎えました。第一号は、町村合併後の昭和三十四年に発行されています。

佐々木知事本町を訪問

団体組織代表者らと懇談

佐々木知事は、十一月十一日、本町を訪れ、町長の案内で北ノ又や馬城橋を視察した後、午後二時半から役場正庁で町当局や町内の関係者と懇談しました。懇談会には、町三役をはじめ部室課長、町議会議員、町内各種団体組織の代表者など約八十人が出席しました。

あいさつに立った佐々木知事は、県の総合発展計画において、最近の県政について報告。では、▽公共投資が順調に推



役場正庁で行われた佐々木知事との懇談会

移していること、▽経済成長率が国よりも高く好調であること、▽人口対策については出生率を高めるとともに、人口流出を防ぐために県内企業の給与を高くしなければならぬこと、などを述べました。懇談会は、知事自らが進行役を務める形で行われました。町から県への要望事項として「あきたリゾートラインの観光の核となる総合観光センター設置」が提示されました。これは、近年道路改修が進み、十和田・八幡平の観光地からこのラインを経由して男鹿・秋田へ移動する観光客が増えているが、この沿線にはこれら観光客を引き止める施設がなく、素通りしているのが実状。このようなことから、県内観光情報の提供、手造り職人の実演と体験学習、県内特産品の展示即売、地場名物料理の提供といった各種機能をもった総合的な観光センターを本町に設置してほしいというもの。これに対し知事は、「県内では二ツ井に建設され、現在は鹿角に建設中である。しかし、これが核になるのではなく、核になるものが他に あることが条件だ」と述べました。

また、町議会議員や団体組織の代表者からは、「秋田八郎潟線の整備」や「農業後継者の育成」、「男子型企業誘致」、「五城目高校への電子関係の学科新設」などが要望として出されました。

表彰

加藤正松さん

厚生大臣表彰に輝く

石崎の加藤正松さん（六十歳）は、十一月十一日、東京日比谷講堂で行われた全国社会福祉協議会全国大会で、民生委員としての長年の福祉功労が認められ、厚生大臣表彰を受賞されました。加藤さんは、昭和四十年から民生委員として活躍。現在、



安藤ひろし 作品展



庁舎ギャラリーに案内

庁舎玄関ロビーでは、十二月一日から安藤博さん（五十二歳・秋田市在住）の油絵、水彩画、版画二十三点を展示しています。昨年九月には、北ノ又や蛇喰の冬の風景を描いた作品を展示し好評を得ています。

安藤さんは、昭和十一年、東京深川生まれ。三十五年に武蔵野美術大学を卒業。四十四年秋田美術学校設立に参加のため秋田市へ移り住んだ。以来、県立美術館などで個展を開催。秋田の風土に密着した作品が見る人の共感を呼んでいます。一月は、本町出身の写真家八木下弘さん（東京在住）の写真を展示する予定です。

五城目町社福協常務理事、県民生委員協議会副会長、南秋・河辺郡の会長などを務めており、厚生指導、社会福祉事業面に寄与されています。

優良従業員を表彰

五城目町商工会

- 五城目町商工会主催の第二十七回商工業優良従業員表彰式が、十一月二十九日、グリーンロイヤル丸富で行われました。表彰されたみなさんは次のとおりです。（敬称略）
- ▼商業の部
 - 川村鈴子（長谷川実業）
 - 伊藤レイ子（同）
 - 柴田富貴子（佐々木商事）
 - 小林百合子（同）
 - 伊藤米雄（秋田中央交通）
 - 小玉幸夫（同）
 - 伊藤定広（五城目信用金庫）
- ▼工業の部
 - 桜田あつ子（同）
 - 畠山明（松竹商事）
 - 佐々木ヤス子（同）
 - 畑沢武（齊藤建材塗装店）
 - 石井鉄造（南秋土建）
 - 石川恵子（秋田ホーセ）
 - 半田秀子（同）畑沢トミ子（同）
 - 阿部勇一（宮田木材）
 - 松橋光春（尾形鉄工所）
 - 石井秋一郎（伊藤製材所）
 - 齊藤ハル子（菊地酒造店）
 - 畠山ミチ（宮盛木材化工）
 - 相馬定子（同）谷地エミ（同）
 - 小林仁志（菊地製材所）
 - 館岡ハル（大晴土建）
 - 伊藤勇一郎（渡辺彦兵衛商店）
 - 佐藤銀蔵（中村板金工作所）
 - 石井勇子（イトマン）
 - 今野澄子（同）石川良子（同）

若さの秘密

わたしの場合

女優

木暮 実千代 (上)



つい先日、私と同年の友達がいじめられた口調で言うんです。
「嫁が私をないがしろにばかりするの。もう悲しいだけだから、早く死にたい」って。それで私はこう言いました。
「少々のことは我慢しなさいよ。老いては子に従えっていうじゃないの。楽しく生きるように自分を仕向けなくちゃ損よ」って。

延びたことはたいへん喜ばし

いやなことは
その日のうちに忘れる
日本人の平均寿命がぐんと

楽しく生きるよう

自分を仕向ける

の生活では何としても心の広い姑でありたいと思っていいます。ですから、いやなことはその日のうちにさっぱりと忘れよう”をモットーにしています。
だから長男の嫁がこう言うんです。「私のうちでは、私が姑で、お母さまが嫁です」って。楽天家の私はいつもおつちよこちよいなことばかりして、この間も嫁に財布を渡して「好きなものを買ってらっしゃい」と言ったのはいいのですが、財布の中に一銭も入ってなくて、あとで嫁からお

いことですが、その反面、とてもひがみっぽいお年寄りが増えているように思えます。年をとるとともに、どうしても愚痴っぽくなり、たいていの人が、「頑固じいちゃん」や「意地悪ばあさん」と呼ばれるようになるのは仕方ないことかもしれません。進んでなることはありません。そういう私はテレビドラマでは意地の悪いおばあさんを演じることがありますが、現実

これらちやう始末。だけど若い人たちの言うことを聞いて、楽しく暮らしたほうがいいから、意地は張らないことにしているんです。
十五年前から
保護司をつとめる

十五年ほど前から法務省に依頼されて、保護司をやらせていただいています。罪を犯した人を保護観察したり、非行や犯罪防止のために活動す

る仕事なのですが、いろんな人たちと出会いました。
それから中国残留孤児の方のお世話も及ばずながら手伝っています。実は亡くなった主人が満州新聞の社長をしておりまして、終戦当時は新京（いまの長春）にいましたが、当時二歳の長男をさらわれそうになったことがあったんです。だから満州に子供を残してきたお母さんたちの気持ちがよくわかるんです。そう考えると、自分の境遇にひたすら感謝の念がわいてきて、戦争の悲惨さを知る一

人の母親として、他人事と無関心でいられないのです。
奉仕活動を通じ
自分を生かす

聖書の言葉に「常に喜び、絶えず祈りなさい。そしてすべてのことに感謝せよ」とありますが、私はいつもそう肝に銘じて、微力ながら社会奉仕活動に参加させていただいているのです。
いや、そうした活動を通じていろいろな人たちと接することで、生きていることに感謝しながら、自分が生かされているような気がしてならないのです。
(談)

木暮実千代さん略歴

へこぐれ・みちよ 大正七年一月三十一日、山口県下関市生まれ。下関の梅光女学院卒業後、日本大学演劇科で学び、昭和十四年、映画『愛染かつら』でデビュー、やがてスターに。女優業のかたわら保護司として多くの社会奉仕活動に多忙な毎日を送っている。一男一女の母親。孫が三人。

腰痛



苦しい腰痛の方ご相談下さい。
良く効く貼り薬のサンプルさし上げます。

◎無料の血圧計もご利用下さい。

五城目 中央薬局

五城目町市場通り ☎52-3217



御歳暮には
ふるさとの香り漂う
清酒 五城目城
をどうぞ!!

酒 専 門 店

タカツ

五城目町中央通り ☎ 52-2262

ふれあい広場

おじいさん
おばあさん
こんにちは

富田

富田 山モヨさん (91歳)

富田の山モヨさんは、明治三十三年三月一日生まれの九十一歳になるおばあさんです。ご家族は、息子の兼太郎さん（六十歳）と、兼太郎さんの妻・ヤスエさん（六十三歳）の三人暮らし。風邪ひとつ引かず、健康のために毎日近所を散歩しているという、とても達者なモヨおばあさんを自宅に訪ねお話を伺いました。



「レビ見で、十二時では飯食。午後は、雪ねえ時だば家の周りどが畑の草取りたりして。五時頃では飯食で、七時頃では布団さ入ってゆつくりして。な。」

「楽しかった思い出は、んだな、若時が山さ歩くの一番楽しかったな。三時頃では起ぎで背中さわらじ背負って、中津又の山越えて上小阿の中茂の沢までミズだのフギだのアイノコだの採に行つたもんだ。それを市日さ売に行つて帰りはニシンのボタン買つて来たな。」

「長生きの秘けつは、好き嫌いなで何でも食ごだども、腹一杯食ばだ。」

「めだ。あど毎日運動すごだな。」

「お嫁さんのヤスエさんに聞いてみました。」

「特に気をつけていることは、おばさんは布団の上げ下ろしから、足袋どが前掛の洗濯まで自分でやつて。なるべく手掛けねようにして。」

「孫やひ孫が遊びに来るのを一番楽しみにしてるといふモヨおばあさん。いつまでもお元気です。」

Coffee・Time 今度は 石井 操さん



身長 155 センチで色白。この人が、本場にバスケットボール日本リーグ 1 部で、常に上位の座にある、共同石油の主力選手として活躍した人かと疑いたくなる。

「ルール改正のスリーポイントをきっかけに、シューターとして起用されたのはラッキーでした」

バスケットボールを始めたのは小学校五年の時。小・中・高校とキャプテンを務める。そして共石へ。国内は元より、海外遠征も数多く経験。そして優勝を勝ち取ったことも。

「勝った時の喜びは、とても言葉では言い表せないけれど、

それがいつまでも続くわけでもない。ほんの一時。だからやっぱり、つらいとか苦しかった時の方が強く心に残っています」

青春バスケットボール。オールジャパンを最後に現役を引退。今年の一月に U ター。五城目高校にバスケットボールの同好会を作ろうという話が持ち上がった時、コーチの一人として要請を受ける。

「館岡敦さんを中心として、私はアシスト的な感じですが、今は仕事も忙しいので練習に行けませんが、冬休みからまた行けるから楽しみ。早く同好会から部に昇格させたいですね」

同好会員は全員が一年生。できるだけ指導に出かけ、地元のためにも頑張りたい。

いしい みさお

1963 年 11 月 20 日生まれ。富津内富田・住。さそり座。B 型。能代市内の高校を卒業後、バスケットボールが縁で共同石油 K K に入社。日本リーグ 1 部で常に上位に位置する共石バスケットボール部で活躍。全日本選手としてアジア大会へ出場。今年 1 月に U ターン。家業を手伝うがたわら、五城目高校女子バスケットボール同好会のコーチもしている。小倉温泉を経営する石井時雄さん・クニさんの長女。



スポットニュース



お年寄りを対象に交通安全講習会を開催

五老連交通安全部会

五城目町老人クラブ連合会交通安全部会（工藤清徳部会長）主催の交通安全講習会は、12月5日、川端会館を会場に約30人が参加して開かれました。

12月1日から「年末の交通安全運動」が展開されていますが、特に交通弱者といわれるお年寄りのみなさんに、「自分の命は自分で守る」を心がけてもらおうと実施されたもの。

講習会は、五城目警察署交通課主任の石井勇さんを講師に迎えて行われ、今年は交通事故による死亡者が増加していること、その傾向と対策、過去における事故の例などを講話しました。また、参加者からも質問や要望が出され、交通事故にあわないためにはどうしたらよいか話し合いが行われました。



講習会では、「自分の命をどう守るか」についても話し合われました

“コールもりやま、10周年記念式典を開催

関係者など60人が参加

快いハーモニーで親しまれている「コールもりやま」（代表・伊藤みゑさん、会員24名）の結成10周年記念式典は、12月3日、町民センターで関係者など約60人が参加して行われました。

昭和54年6月に結成された「コールもりやま」は、歌の好きな女性が集まって作った「五城目町ママさんコーラス」が始まりで、現在の名前は59年6月に改称したもの。今では成人式・戦没者追悼式・町功労者表彰式典などに出演。町の催し物には欠かせないグループとなりました。

式典は、「若き郷土の歌」で始まり、今日まで指導者として頑張ってこられた小玉正文先生に、賞状や記念品・花束を贈呈。あいさつ、祝辞、友情出演の五城目小学校合唱クラブなどのコーラスに続き、「コールもりやま」のみなさんが、この日のために新調したピンクのドレスを着て登場。「いい日旅立ち」など4曲を披露しました。また、アンコールには会員が一番好きな「長崎の鐘」を歌い、出席者から盛大な拍手が送られていました。



アンコールに「長崎の鐘」を歌うコールもりやまのみなさん

本町から4人が入賞

明るい選挙啓発ポスター

「心身ともに清く正しい全国の児童、生徒のみなさんに明るい選挙を推し進めるために役立つポスターを書いてもらおう」と、都道府県選挙管理委員会連合会などの主催で行われた、昭和63年度選挙啓発ポスター作品募集の秋田県審査で、内川小学校6年の松橋留理子さんの作品が入選に、また佳作に同小6年の猿田和恵さん、工藤秀行くん、大川小学校6年の畑沢亨くんの作品が選ばれました。

入選に輝いた松橋さんの作品は、投票用紙を鳩になぞらえたアイデアがすばらしく、絵も文字もていねいで好感が持てるものです。また、この作品は全国の審査でも佳作に入賞しました。



明るい選挙啓発ポスター入賞者のみなさん



五城目陸協が優勝

五城目・上小阿仁駅伝

第百一十回秋田県種苗交換会記念第二十四回五城目・上小阿仁間駅伝競走大会は、十一月六日、上小阿仁村健康増進トレーニングセンター前か



優勝した五城目陸協のみなさん

温水プールの休みは

12月28日～1月4日

屋内温水プールは、十二月二十八日(水)から来年の一月四日(水)まで、年末年始と清掃のため休館します。なお、一月五日からは平常どおり開館します。

ら本町の広域体育館前までの五区間、三十・五キロのコースで行われました。

天気にも恵まれた今大会には、全県から三十チームが参加。

五城目陸協が二位に一分近い差をつけ、記念大会での優勝を飾りました。

- ①五城目陸協 (1時間40分1秒)
- ②秋田市仁井田陸友会 (1時間40分57秒)
- ③沢口走友会 (1時間42分39秒)
- ④秋田LSDクラブ (1時間42分50秒)
- ⑤JR東日本秋田 (1時間44分20秒)
- ⑥綴子走友会 (1時間44分29秒)
- ⑦八巻板金工業 (1時間44分53秒)
- ⑧走れ合川軍団 (1時間45分37秒)
- ⑨若美陸協 (1時間46分4秒)
- ⑩八幡平石鳥谷青年団 (1時間46分27秒)
- ⑬五城目陸友会 (1時間47分51秒)

⑫馬場目走友会 (1時間51分26秒)

⑭五城目水走会 (1時間54分0秒)

▽区間ラップ

・一区間8900M

中嶋忍(沢口走友会) 28分53秒

・二区5300M

佐藤智是(秋田市仁井田陸友会) 17分57秒

・三区4200M

佐藤賢一(秋田市仁井田陸友会) 12分2秒

・四区4800M

佐々木忠二(五城目陸協) 15分24秒

・五区7300M

松橋久美(秋大クラブ) 23分35秒

納め忘れの保険料

ありませんか

国民年金の保険料は、もう納めましたか。十二月は一年の締めくくりの月です。納め忘れがないかどうか、今一度お調べください。

保険料を納め忘れていますと、万一の事故のとき障害基礎年金や遺族基礎年金などを受けられないばかりか、お年寄りになったときの老齢基礎年金さえも受けられないこともあります。もし、納め忘れの保険料がありましたら、すぐに納めましょう。

役 場
年末年始の休み
28日午後から
窓口業務は
31日まで

役場は、十二月二十八日の午後から一月三日まで、年末年始の休みになりますが、住民課と税務課の窓口業務(各種証明書の発行など)については、次のように三十一日の正午まで行います。
▽二十八日(水)～三十日(金) 午後五時まで
▽三十一日(土) 正午まで
▽一日～三日 休み
▽四日(水) 正午まで
なお、休みの日でも職員や守衛が庁舎内に常時おりますので、急用の場合は相談してください。

少年の日 標語

若い芽に

あすの日本に

夢がある

町長選挙日程決定

十二月十三日開かれた選挙管理委員会では、町長選挙の日程が次のように決まりました。

▽告示日 昭和六十四年二月十四日(火)

▽投票日 昭和六十四年二月十九日(日)

※詳細については、今後の広報で随時お知らせします。

今月の町税

町県民税4期分と
国保税4期分の納期限は
12月26日です
納期内納付に
ご協力をお願いします

最新システムグローワークス掛

洗車会員募集

何度WAXしても、1ヶ月会員 3000円

温水使用で真冬もOK!

●上記洗車・ワックス掛の他、当店は車内洗車も含んでこのお値段です。

きれいい好きの面倒くさがり屋さんは集まって下さい。



湖東商事 有限会社

五城目町大川国道7号線添い ☎75-3550・4317

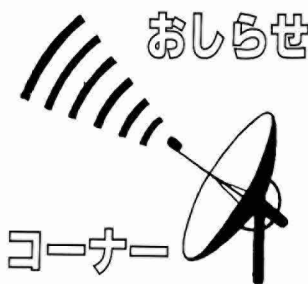
お待たせしない
13分
仕上げ

カラー
プリント 30分 仕上げ

イトウカメラ

伊藤写真館

新畑町(ガーデン松竹向い) ☎52-3667



親子の話し合いを大切に
12/18 青少年健全育成運動

「冬の青少年健全育成運動」が、十二月十八日から一月十五日まで展開されます。

青少年が、明るく・たくましく育つように、学校・家庭・地域社会が一体となり、次の重点目標を実施しましょう。

▼家庭教育の充実を図りましょう

①子どもの言動や服装、金品等に注意をはらい、家庭で親と子の話し合いの機会を多く持ち、特に「青少年の問題行動」について、家庭で意見交換しましょう。

②学校と地域・家庭との連携を深めるため、話し合いの機会をつくり、全体で子どもの教育に努めましょう。

▼青少年の自主性や自立心を育てましょう

①家庭での仕事を分担することにより、規律ある生活習慣を身につけさせましょう。
②地域で実施する伝承行事、スポーツ、レクリエーションなどに自らすすんで参加しましょう。

▼青少年の社会性や連帯感を育てましょう

①親は子どもに対し、礼儀、責任感、協調性など社会生活を営む上での習慣を教えましょう。

②地域で声をかけ合い、親切奉仕の心を培い社会での連帯感を育てましょう。

▼青少年に健全な社会環境をつくりましょう
環境浄化運動を積極的に行い、住みよい社会環境をつくりましょう。

秋田県婦人会館

各種教室の受講生を募集

▼お正月生け花講習会

十二月二十八日（水曜日）

▼ジャギー体操教室

昭和六十四年一月十日～三月二十八日（毎週火曜日）

▼ペン習字教室

昭和六十四年一月十日～三月二十八日（毎週火曜日）

▼教養ワンステップ教室

昭和六十四年一月十三日～六月三十日（毎週金曜日）

▼社交ダンス

①昼初心者コース
昭和六十四年一月二十三日～四月二十四日（毎週月曜日）

②昼中級者コース
昭和六十四年一月十四日～四月二十二日（毎週土曜日）

③夜初心者コース
昭和六十四年一月十二日～三月三十日（毎週木曜日）

④夜中級者コース
昭和六十四年一月十一日～三月二十九日（毎週水曜日）

※詳しい内容については、秋田県婦人会館（☎34-1737）へお問い合わせください。
あなたも森山山頂で
除夜の鐘をつきませんか

毎年、大みそ日の夜に実施している、除夜の鐘つきを今年も実施します。
あなたも森山山頂で鐘をつき、新年を迎えてみませんか。

▽実施日 十二月三十一日
▽集合場所 森山管理棟
▽出発時間 午後十時三十分
※終わってから、管理棟であたたかいソバやみかんなどのサービスもあります。

また、夜ですので寒くない服装で参加してください。

カラスの捕獲業務

受託者を募集

町では、カラス捕獲業務の受託者を募集しています。

これは、カラス公害対策の一環として、「箱わな」によるカラスの捕獲を実施しようというもので、昨年、一カ月の間の試験捕獲で、その効果のあることが実証されています。

「箱わな」は、幅二・七メートル、奥行き三・五メートル、高さ二・二メートルの大きさで、屋根の部分に幅約三十一・四センチメートル間隔のカラスの入口を作り、箱の中に魚のエラや残飯などの生ゴミを置いておくと、カラスがエサを求めて侵入する。ところが、入口付近には針金を数十本つるしてあるため、カ

ラスの翼が当たって逃げ出せない仕組みです。

実施の時期、期間、費用（受託料）などについては、応募者との話し合いで決めたいと思いますので、希望者は役場企画調整課（☎52-2100）までご連絡ください。

馬場目・杉沢・富津内保育所
保育児を募集

馬場目、杉沢、富津内の各保育所で、昭和六十四年度の保育児を募集します。入所申請書の受け付けは、一月十九日と二十日、役場住民課と各保育所で行います。

▽募集対象

昭和五十八年四月二日～六十一一年四月一日生まれ（三歳～五歳児）

▽対象地域

・馬場目保育所……帝釈寺から水沢までの馬場目地区
・杉沢保育所……恋地、坊井地、杉沢、合地
・富津内保育所……上山内、下山内、富田を除く富津内地区

教育改革のモニターを募集

募集

文部省では、昭和六十四年度の教育改革モニターを募集しています。

これは、教育改革に関する諸施策を実施する際に、広く国民の意見・要望を反映させることを目的に募集するものです。

モニターの方には、文部省

から依頼されるテーマについて、意見・要望を文書でまとめてもらいます。

募集は五百人で、任期は二年。応募資格は二十歳以上で、教育改革に関心のある方。市町村議会議員や公務員、行政相談員は応募できませんが、学校の先生は応募できます。

▽申し込み締め切り日
昭和六十四年二月十日

▽申し込み先
秋田市山王四丁目一・二
県教育庁幼児養護教育課
☎60-2247

水道の凍結にご注意

日ごとに寒さが厳しくなりませんが、毎年のことながら水道管の凍結による漏水やメーターの破裂が多くなっております。

凍結の原因は、水抜き操作の忘れ、怠り、操作の誤り、または給水管の埋設が浅いことなどです。

凍結を防止するためもう一度防寒を確認するとともに、夜間は屋内配管内の水抜きを必ず行ってください。

なお、凍結を防ぐための水の出し流しは、水不足の原因にもなりますのでご注意ください。



テレホン広報
ぐじょうめ
のご案内

月	日	土	金	木	水	火
川柳作家を訪ねて 草皆チエさん						
12/13 ～19						
みんなで協力 歳末たすけあい運動						
20～26						
冬の野鳥の森 (鳥の声をプレゼント)						
27～ 1/4						
27日～31日 歳末のおしらせ						
元旦～4日 新年のあいさつ 五城目町長 加賀谷力司						

川柳作家を訪ねて

今回は、帝釈寺の草皆チエさんに、作句の楽しみなどを伺います。

街角インタビュー

おふくろの味ワンポイント今回は、「なたづけ」をおいしくつけるコツを、帝釈寺の宮川トシさんにお聞きします。

テレホン広報ぐじょうめ
☎52-4141

五城目の地名散歩

18

字(あざ)の類型分類-8

石川 富司
(館 町)



石崎字槐のいかり跡(馬場目川古川)

4 植物地名

○槐(サイカチ)

槐は辞典から見ると「えんじゅ」の読みになっているがこの辺では「さいかち」といっている樹木は槐のようである。槐は、北に植えれば鬼門除けになるといわれるがある為か、町内あちこちの寺の境内に見られたものである。

槐地名は、本町に二カ所(石崎、高崎)ある外、湖東部(下蛇川、大久保、豊川)、県北(能代市、鷹巣町)にもあることから、この土地はきつと鬼門除けには密接な関係があるものだろうと前から推測

していた。

ところが、現地に調べたりあちこち聞いたりしていると大久保の「根川端」は円福寺の「えんじゅ」の係りはあつたものの、ほかの地域は槐(サイカチ)の木には直接関係がなく、関係の深かったのは意外にも川であったのである。

前述の地名はいずれも川の流域であり、川岸であり、元は氾濫地であり、蛇行する流れの肩に当る土地が多く、面積も小さい土地である。

このことから槐地名は辞典にもあるように、植物地名ではなく、他の事物からの名前を当てた字の地名であろうと思うのである。

一番考えられるのは地形から判断すると「いかり地」の五十土から引き出された当て字であろう。これらの土地は小さいので些(せ)な土地のいかり地、すなわち「些・五十土」の名乗りが、いつの間にか自然に縮約されて「サイカチ」と呼ばれるようになったのではないだろうか。

ついでであるが、「さいかち」は漢字で皂莢と書かれていること、元は石けんの代用に使われたものであることをつけ加えておく。

1 月 ごみ収集日程表

「もえるごみ」

	曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町、新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	5日・9日・12日・19日・23日 26日・30日 月・木
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎、仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区~4区)	6日・10日・13日・17日・20日 24日・27日・31日 火・金
大川(1区~4区以外の地区)、馬川地区、馬場目地区、森山地区、富津内地区、内川地区	4日・7日・11日・14日・18日 21日・25日・28日 水・土

「もえないごみ」

	空ビン等・曜日	空カン等・曜日
新里町、広ヶ野、希望ヶ丘、田町、上田町、今町、御蔵町、小池町、川原町	14日・第2土	28日・第4土
新町、一番町、古川町、紀久栄町、館町、中川原、樋口、岩城町	13日・第2金	27日・第4金
築地町、畑町、新畑町、東磯ノ目町、西磯ノ目町、矢場崎	12日・第2木	26日・第4木
仲町、長町、米沢町、雀館、昭辰町、大川(1区~4区)	11日・第2水	25日・第4水
大川(1区~4区以外の地区)、馬川地区、森山地区	10日・第2火	24日・第4火
馬場目地区、富津内地区、内川地区	9日・第2月	23日・第4月

注意 ・台所のごみ(もえるごみ)は必ずよく水切りをしてから出してください。
・「もえるごみ」と「もえないごみ」を混同して入れてある場合は収集しません。
・祝日および振替休日は収集しませんので注意してください。
・ゴミ1個を10kg以内にこん包して出してください。

※1日から3日までは収集を休みます。

五城目町清掃センター TEL 52-9904



森山 莊に
寄せられた善意

(敬称略)

十一月一日

鐘撞き堂と五重の塔のケース入り飾り物 各一個

中古ミシン 一台

米沢町 長谷川倉太郎

十一月十二日

舞踊、外

八郎湯町 小野恵子バレエ団

十一月二十一日

梅漬 一・五kg

いとかばちやひたし 一・五kg

菊ひたし 一・一kg

黒豆 1kg かぼちゃ 六kg

会八郎湯支部

代表 小野正一

(種苗交換会期間中における売上金の一部を寄付)

十一月十四日

三万四 小倉千葉興右衛門

(亡父六郎様の香典返しとして)

十一月十六日

二万四 町村 伊藤正美

(亡父巳之吉様の香典返しとして)

十一月十八日

千六百五十円

米沢町 長谷川倉太郎

(種苗交換会期間中における売上金の一部を寄付)